

# 令和4年度中野区立中央図書館事業報告

## 1 図書館概要

開館日：平成5年（1993年）10月29日 ※ 中野図書館開館発足：昭和23年12月

施設規模：地上4階、地下3階建の地下1階と地下2階の一部（4,480㎡）

閲覧席：301席（内机167席。パソコン優先席12席及び可能席4席含む）

※ 他にパソコン専用席16席あり

利用者開放インターネット端末：8台

蔵書数：図書資料508,053冊（一般書430,444冊、児童書77,609冊）

視聴覚資料16,402点、購入雑誌290タイトル、購入新聞32紙

貸出冊数：749,704冊（一日平均2,238冊） ※ 令和2年度比136%増

貸出人数：222,785人（一日平均665人） ※ 令和2年度比132%増

休館日：原則毎月第2月曜日・毎月最終金曜日・年末年始・特別図書整理期間

開館時間：9:00-21:00

※ 蔵書数、貸出冊数、貸出人数は令和3年度実績

## 2 運営報告

### (1) 指定管理者について

平成25年4月から、指定管理者による運営体制に移行した。

代表企業：株式会社 ヴィアックス

本社所在地：中野区弥生町

創 立：1973年8月17日

資 本 金：1億7,774万2,500円

従 業 員 数：1,855名

受託館数：公共図書館94館（都内61館）、学校図書館87校

- ・平成14年 図書館業務に参入
- ・平成16年 中野区が図書館業務委託を開始 野方・南台図書館を受託
- ・平成19年 上高田図書館を受託
- ・平成25年より指定管理者として、中野区立図書館全館を受託開始。

以降、指定管理者として都度選定を受け、令和3年より第三期の受託を開始。

構成企業：株式会社 紀伊國屋書店

- ・指定管理者受託以前より中野区立図書館への図書納入実績あり
- ・現在は、図書納入及びレファレンスセンターによるレファレンスサービスの一部サポート業務を担当

## (2) 組織について

全7図書館に館長を配置し、副館長・業務責任者クラス・リーダークラスの常勤者と短時間勤務職員で構成。現在、中央図書館は配属数60名、司書率73.33%、全館では配属数191名、司書率65.44%となっている。(令和4年12月末日現在)

この他に、効率的な管理運営と組織の安定・強化を図るために、中央図書館内に代表企業社員を配属し、運営業務をサポートしている。

## (3) 運営

- ① 第4次子ども読書推進計画の開始  
令和4年～令和8年
- ② 中央書館に予約本受取コーナー開設
- ③ 学習スペース設置拡大  
4館3分室に拡大。中央図書館は夏休み以後常設(日指定)
- ④ 鷲宮図書館及び上高田図書館の設備更新工事
- ⑤ 全館児童新規事業を主導  
ハロウィン、外国語おはなし会
- ⑥ 児童選書基準の一部改正  
「読ませたい本」から「読みたい本」へ
- ⑦ 新型コロナウイルス関連  
コロナ前の席数に戻した。

## 3 事業報告(一般)

### (1) 企画事業

- ① 異文化・多文化を理解して楽しもう! EU編  
令和4年4月10日(日) 参加者23名  
講師 下田眞平(海外勤務経験者)
- ② JICA国際協力出前講座 チョコレートだけじゃない ガーナを知る  
令和4年5月15日(日) 参加者24名  
講師 湯野澤いづみ(元青年海外協力隊員)
- ③ 知っているようで知らない世界遺産  
令和4年6月5日(日) 参加者19名  
講師 柳井章(世界遺産アカデミー認定講師)
- ④ 食をテーマにした講演会 楽しく食べて健康に!  
令和4年6月19日(日) 参加者22名  
講師 堀池俊介(キューピー株式会社 広報・グループコミュニケーション室)

⑤親子で手話教室

令和4年7月17日(日) 参加者 子ども7名、大人7名 合計6組

講師 小川光彦(NPO 中野区聴覚障害者情報活動センター副理事長)

⑥ブロックをつかってSDGsを学ぼう!

令和4年8月7日(日) 参加者 子ども7名、大人7名 合計14名

講師 井澤友郭(こども国連環境会議推進協会)

⑦夏休み企画 小学生のための宇宙教室 かさ袋ロケットをとばそう!&真空実験

令和4年8月21日(日) 参加者 14名

講師 小口美津夫(JAXA 宇宙教育指導者セミナー講師)

⑧「イライラ」と上手く付き合うためのアンガーマネジメント初級者講座

令和4年10月9日(日) 参加者 18名

講師 小尻美奈(アンガーマネジメントコンサルタント)

⑨アートを楽しもう!

令和4年11月6日(日) 参加者 23名

講師 内村宏(日本アーティストエイド協会理事長)

⑩オーケストラを聴こう! ~指揮者は何を考えているか~

令和4年11月20日(日) 参加者 17名

講師 松村哲哉(翻訳家)

⑪中野税務署連携事業 インボイスってなんだろう?

令和4年12月11日(日) 参加者 23名

講師: 中野税務署職員

⑫こども教育宝仙大学連携事業 「アートのある場所」との出会い方

令和5年1月15日(日) 参加者 22名

講師 捧公志朗(こども教育宝仙大学こども教育学部教授、アートギャラリー『nohako』運営)

⑬地域で見守る認知症

令和5年2月5日(日) 実施予定

講師: 弓倉 整(弓倉医院院長、板橋区認知症を考える会代表)

⑭中野区国際交流協会連携事業 イムケさんから学ぶおもてなしレッスン~ドイツ編~

令和5年2月19日(日) 実施予定

講師: イムケ(ドイツ出身、中野区在住)

⑮映画会

「晩春」 令和4年4月30日(土) 参加者 28名

「メトロポリス」 令和4年5月28日(土) 参加者 29名

「とうもろこしの島」 令和4年6月25日(土) 参加者 24名

夏休み映画会 「岬のマヨイガ」 令和4年7月30日(土) 参加者 12名

夏休み映画会 「父と暮せば」 令和4年8月6日(土) 参加者 21名

夏休み映画会「アルプスの少女ハイジ」 令和4年8月14日（日） 参加者 26名  
夏休み映画会「オズの魔法使い」 令和4年8月27日（土） 参加者 14名  
「おくりびと」 令和4年9月25日（日） 参加者 20名 ※会場：中野区産業振興センター  
「悪魔が来りて笛を吹く」 令和4年10月29日（土） 参加者 20名  
「思い出を売る男」 令和4年11月26日（土） 参加者 24名  
「サンタクロースになった少年」 令和4年12月24日（土） 参加者 34名  
「レベッカ」 令和5年1月28日（土） 実施予定  
「三つ数えろ」 令和5年2月25日（土） 実施予定

## （2）展示

### ①なかの里・まち連携事業展示

令和4年7月30日（土）～8月31日（水）  
中野区立中央図書館 地下1階 展示コーナー

### ②中野区ゆかりの著作者紹介展示 作曲家・中山晋平～中野で生まれた大衆歌謡～

令和4年11月26日（土）～令和5年1月26日（木）  
中野区立中央図書館 地下1階 大型図書コーナー

展示終了後は、展示記録をまとめた冊子を発行し、カウンターでの配布および図書館HPにてPDF版を公開する。

※図書館HP「中野区ゆかりの著作者紹介展示」記録冊子

<https://library.city.tokyo-nakano.lg.jp/issue/yukari.html>

### ③中野区立歴史民俗資料館連携事業に関する展示

令和5年1月28日（土）～2月23日（木） 実施予定  
中野区立中央図書館 地下1階 特集展示コーナー

## （3）地域連携

地域連携事業 出張図書館修理講座

令和4年9月4日（日） 参加者 12名  
会場 あいロード広場（中野区新井1丁目22番6号）  
講師 中央図書館職員

## （4）発行物

### ①図書館報『シイブリリア』

図書館からのお知らせだけでなく、中野区や図書館に関する記事等を掲載する。季刊（5月、8月、11月、2月発行）、各号1000部。各図書館のカウンター等で配布している。また、2022年8月より中野区立図書館のTwitterにて「Twitter版シイブリリア!!」の発信を開始し「〇〇の日」や季節にちなんだ本を紹介している。

※図書館 HP「シイビブリア」にて PDF 版を公開

<https://library.city.tokyo-nakano.lg.jp/issue/seebiblia.html>

## ②パスファインダー

図書館で情報を調査する際に利用者の助けとなるよう、特定のテーマを取り上げ、パスファインダーを発行、配布している。中央図書館は、12月に「物価高騰」をテーマに作成した。

※図書館 HP「中野区立図書館パスファインダー」にて PDF 版を公開

<https://library.city.tokyo-nakano.lg.jp/issue/pathfinder.html>

## (5) その他

雑誌の最新号に広告付きのカバーを付けることで、年間購入費を負担していただく雑誌スポンサー制度を実施している。今年度は全館で4誌64,440円分をご負担いただき、スポンサー収入は図書資料費に充当した。

## (6) 次年度に向けて

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら、年間を通してイベント等を定期的に行うことができた。図書館資料の貸出以外にも、さまざまな学びやレクリエーションの場を提供することで、利用者の生活の質向上に貢献できれば幸いである。また、普段はあまり図書館を利用する機会がない方にも図書館を活用していただけるよう、イベントや図書館サービスの情報発信に努めていきたい。

## 4 事業報告（児童）

### (1) おはなし会

感染症の流行状況を鑑み、定員をやや抑えた状態で実施した。

#### ① おはなし会

毎週水曜日の15時30分から、毎週土曜日の13時30分からと14時30分からに加え、第4土曜日は11時30分から実施。所要時間は20分程度で読み聞かせだけでなく、手遊びやパネルシアターなども取り入れている。団体ボランティアや図書館スタッフが担当。

#### ② 小さい子向けおはなし会

第3土曜日の11時から実施。所要時間は15分程度。歌や手遊びを多く取り入れている。図書館スタッフが担当。

#### ③ ブックスタートおはなし会

0歳児とその保護者を対象に、毎月第4日曜日に実施。3～4ヵ月児健診の案内に「ブックスタート事業のおしらせ」を同封。図書館来館時に絵本2冊、布製バッグ、ブックレットをお渡しし、新規登録もおすすめている。

- ④ おはなしと工作の会
  - ・「子ども読書の日」こども会（スタンドグラス風しおり作成キット配布）
  - ・七夕会（ミニ七夕飾りの作成）
  - ・クリスマス会（紙皿のクリスマスリース作成）

## （2）イベント

- ① 調べるって楽しい

夏休みの学習支援として8月に実施。自由研究のテーマの決め方や実際の調べ方を説明・体験してもらい、最後のまとめまでをサポートした図書館の活用講座。
- ② 外国語おはなし会

ネイティブの講師による全て英語のおはなし会を10月に実施。
- ③ 本の帯コンテスト、読書感想画コンテスト

本の魅力を子どもたち自身に表現してもらい、より読書への興味関心を高めることを目的に秋から冬にかけて実施。
- ④ 本の福袋

お正月のイベントとして実施。対象別に2冊入りの袋を70個用意。
- ⑤ ブックマラソン

夏休みと冬休みのイベントとして実施。夏休みはリストを定めずに好きな本を読んでもらい、冬休みは年齢別に4種類の対象図書リストを用意して実施。
- ⑥ プレママ・プレパパ絵本講座

これから子育てを始める方や育て始めた方を対象に8回実施。絵本の読み聞かせ方やそれに向けた本の紹介に加え、童謡や読み聞かせの実演も取り入れた。
- ⑦ 特集

毎月発行している「なかのとしょかんだより」の誌面と同テーマで特集。併せて図書館のホームページ内、こどもページにブックリストとして公開。  
この他にもイベントと連動した特集や夏休みの学習支援、児童書作家の受賞や逝去などのニュースを受けての特集なども行った。

## （3）地域連携・学校連携

- ① 絵本講座

親子を対象に読み聞かせの大切さを伝え、実演をし、併せて図書館の利用案内や新規登録、貸出を実施。会場は図書館ではなく、中部すこやか福祉センター、城山ふれあいの家、文園児童館にてお部屋をお借りした。
- ② 学校への教育活動支援
  - ・団体貸出

学校や幼稚園など教育機関を対象に一般利用者よりも長期間、大量に貸

出・提供。小・中学校へは配送も実施。

・図書館見学会、職場体験、まちたんけん、ブックトーク

③ 小教研 学校図書館研究部との連携

小学校児童に年3回配布される「おすすめ本リスト」対象図書の選書や図書館スタッフとの合同研修会（1月）を実施。今年度の研修会はブックトークや読み聞かせのスキルアップを目指した実践的な内容で行った。

④ なかの ZERO との連携展示

YA コーナーにて「星」をテーマに特集を行った際になかの ZERO のプラネタリウムについてポスターや資料をいただき、併せて掲示した。

⑤ 保育園との連携

図書館の仕事のお手伝いとして絵本の拭き掃除等を行ってもらい、児童室にて園児を対象にハロウィンのおはなし会を実施した。

(4) ブックスタート事業

ブックスタートパックの引換（常時）、ブックスタートおはなし会（毎月1回）を実施。中部すこやか福祉センターでの3~4ヵ月児健診（毎月1回）の際に図書館スタッフが参加し、PRに努めた。

(5) その他

①学習スペースの開放

小学生から高校生までを対象に地下2階セミナールームを開放した（図書館での事業実施日を除く）。例年は夏休み期間のみであったが、10月以降は常時開放している。

②ホームページ「こどものホームページ」リンク集の追加

「としょかんたんけん」の項目に「しらべものりんくしゅう」として自由研究にも役立つような政府・民間のページを掲示。

③家読リストの作成

これまでの乳児、幼児、小学生、中学生それぞれを対象としたおすすめ図書のリストに加え、新しく「家読リスト」を作成・配布。すべてホームページ上でも公開している。

(6) 来年度について

感染症の対策のため定員をやや抑えたり、不要な接触を減らしたりと配慮をした上での事業実施となった。今後については感染症の流行を注視しつつ、子どもたちの読書への興味関心を応援できるよう、さまざまな取り組みをしていきたい。また、児童室の一部改修や蔵書の更新など未来に向けた基礎作りにも尽力します。

## 5 事業報告（システム）

### （1）IC機器の導入

昨年度に導入した IC タグや自動貸出機を活用するため、中央図書館に予約受取システムを設置し、10月22日より稼働を開始した。これにより、カウンターに並ぶことなく、自分で棚から予約した本をピックアップして、予約本受取コーナー内にある自動貸出機で借りることができるようになった。

予約した本を自分で借りることにより、カウンターの列に並ばずに本を受け取ることができ、プライバシーも確保できるようになった。

### （2）スマートフォン版のウェブサイトの統合

パソコン版とスマートフォン版に分かれていた蔵書検索のウェブサイトを5月27日にパソコン版に統合した。これにより、検索方法や画面デザインが統一され、別れていたことが原因のログインエラーも解消された。

## 6 利用者アンケート結果報告

### （1）結果概要（全館集計結果）

実施期間：令和4年8月1日（月）～31日（水）

有効回答数：1,819枚

### （2）分析

#### ① 今年度の評価

#### （1）来館目的「貸出・返却」 52.5%→47.5%

図書館の利用についての項目では、来館目的の中で50%を超えていた「貸出・返却」が50%を下回る結果となった。事由の中では「Wi-Fiの利用」が0.7%→2.2%と最も伸びており、依然として蔵書の利用が一番の目的であることには変わらないが、利用者の需要の変化を感じられた。

#### （2）資料の充実度 66.9%→71.6%

「満足」「やや満足」合わせて71.6%と、前年度より5%近くの上昇となった。中野東図書館の開館に合わせた蔵書の整備等もあり、区内全体として蔵書構築に変更があったことが要因の一つと考えられる。今後も満足いただけるよう努めていきたい。

#### （3）今後、充実してほしい子ども向けサービスについて

今年度より「今後、充実してほしいサービスについて」から「今後、充実してほしい子ども向けサービスについて」に変更した。一番多い項目は「所蔵資料の量」であることは以前と同様だが、24.3%であった前回と比べ

16.2%とその割合が低く、より幅広いサービスについて需要があることが伺えた。

② ご要望に対して

自由記載欄に記載されたご要望への対応について、いくつか紹介する。

(1) 蔵書について

「予約多数の資料は蔵書数を増やしてほしい（3件）」

以前よりご意見をいただいていたが、今年度に蔵書の購入冊数の見直しを行い、予約件数の多いものに対しては複本の購入冊数を増やした。

(2) 施設・設備について

中野東図書館や分室については新設であることもあり、施設・設備については好意的なご意見が多い反面、他の図書館ではその古さを指摘するご意見が多く見られる。施設の改修については優先順位をつけながら順次行っていきたい。

(3) サービス全般について

マスクに関するご意見が着用・未着用ともに多く見られる。現在の厚生労働省による方針では、2メートル以上の距離を保てる場合には図書館でのマスク着用は不要となっているが、館内において利用者同士の距離を2メートル維持することは難しいため、引き続き館内でのマスク着用についてはご協力をお願いしていきたい。

③ 次年度への課題

中央図書館では児童室の一部改修が予定されており、より利用しやすいような構成になるよう配慮していきたい。また、依然として新型コロナウイルスの感染が収まらず、図書館でも感染対策のための対応を続けているが、5類への移行に伴い見直せる部分については見直しを行い、少しでも不自由のない利用ができるように検討していきたい。